



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月28日

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社
 コード番号 5612 URL <http://www.nichu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 日下 修一
 (氏名) 井澤 信之
 TEL 03-3546-7675

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,377	9.8	257		273		219	
2019年3月期第2四半期	5,807	8.4	168		146		127	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 190百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 95百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.71	
2019年3月期第2四半期	38.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	15,523	7,432	46.2	2,178.39
2019年3月期	15,309	7,245	45.6	2,122.91

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,166百万円 2019年3月期 6,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00			
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,940	0.5	210		220		150		45.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,293,074 株	2019年3月期	3,293,074 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,099 株	2019年3月期	3,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,289,975 株	2019年3月期2Q	3,290,136 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2018年度以降、企業体質の強化を図り、2019年度に黒字回復することを目指して、様々な改善活動に邁進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、2018年11月以降、不退転の決意で進めて参りました販売価格の改善活動を販売数量確保より優先してきた結果として、販売数量は減少したものの、販売価格について営業部門の懸命の努力とお客様のご理解により順調に成果を上げてきており、前年同期と比べ5億70百万円（前年同期比9.8%）増加し、63億77百万円となりました。

収益につきましては、前述の販価改善に加え、製造部において昨年度から取り組んで参りました大規模合理化の大幅な進展、また、資産を身の丈に合わせる減損損失計上によりスリム化したことで減価償却費を低減した効果もあり、鋼屑等の原材料価格が安値で推移したことと相まって、前年同期と比べ営業利益は4億25百万円増加し2億57百万円、経常利益は4億19百万円増加し2億73百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億46百万円増加し2億19百万円となりました。

引き続き、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様のご期待に添えるような運営に努め、さらなる安定利益を確保するよう努力して参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨年度から懸命に取り組んで参りました事業改革、風土改革を実施したことにより、企業体質の強靱化は格段に進展して参りました。その結果、2019年度第2四半期累計期間の収益につきましては、2億73百万円の経常利益となり、既に通期の経常利益予想を上回る水準で推移しております。このまま順当に推移すれば、連結業績予想の上方修正が必要となる状況ではありますが、下期に想定される以下三点の不確定要因を考慮し、2019年7月31日に発表した数値からの修正を見送ることといたしました。

一つ目は原材料であるスクラップ価格です。これは、ボラティリティの高い商品であり、当社の自助努力ではコントロールできないこと、足元で比較的低位で推移しているとはいえ、2016・17年のように下期に高騰する事例もあることから、今後の高騰による収益悪化の可能性を考慮しております。二つ目が、消費増税駆け込み需要の反動であります。大規模ではありませんが、消費増税の駆け込み需要があったことにより、その反動による需要減を想定いたしました。三つ目が台風19号の被害影響です。これについては、復興対策工事の影響などの市場環境の見極めが必要と考えております。

これらの不確定要因の動向を見極め、業績予想の修正が妥当と判断されれば速やかに開示いたします。

今後引き続き、新商品の開発、新分野への展開を進めて参りますが、その一つである新商品「オセール」の初工事完工を2019年10月25日に公表いたしました。非開削の水道管工事現場での作業負荷を革新的に軽減することが実証され、工事関係者からも高い評価をいただいております。今後、更なる創意工夫により、新規分野での事業展開を進めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,881	3,250
受取手形及び売掛金	4,794	4,651
商品及び製品	2,509	2,182
仕掛品	127	467
原材料及び貯蔵品	541	446
その他	61	85
貸倒引当金	△46	△45
流動資産合計	10,870	11,037
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,244	3,244
その他(純額)	882	916
有形固定資産合計	4,127	4,161
無形固定資産	3	15
投資その他の資産	308	308
固定資産合計	4,439	4,485
資産合計	15,309	15,523
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,518	2,653
短期借入金	1,050	1,050
未払法人税等	36	37
賞与引当金	126	148
その他	701	517
流動負債合計	4,432	4,406
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
役員退職慰労引当金	35	27
退職給付に係る負債	644	667
負ののれん	43	40
その他	908	949
固定負債合計	3,631	3,684
負債合計	8,064	8,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,855	1,855
資本剰余金	264	264
利益剰余金	4,897	5,117
自己株式	△5	△5
株主資本合計	7,012	7,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	2
退職給付に係る調整累計額	△35	△67
その他の包括利益累計額合計	△28	△65
非支配株主持分	261	265
純資産合計	7,245	7,432
負債純資産合計	15,309	15,523

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,807	6,377
売上原価	5,034	5,155
売上総利益	773	1,222
販売費及び一般管理費	941	964
営業利益又は営業損失(△)	△168	257
営業外収益		
受取賃貸料	2	7
その他	28	20
営業外収益合計	31	27
営業外費用		
支払利息	6	7
その他	2	3
営業外費用合計	8	11
経常利益又は経常損失(△)	△146	273
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	9	0
事務所移転費用	-	8
特別損失合計	9	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△155	265
法人税、住民税及び事業税	46	35
法人税等調整額	△87	2
法人税等合計	△41	38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114	227
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127	219
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△4
退職給付に係る調整額	14	△32
その他の包括利益合計	18	△36
四半期包括利益	△95	190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108	182
非支配株主に係る四半期包括利益	13	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。